

静岡女子短期大学 静岡県立大学短期大学部 同窓会だより

第12号

2024年3月15日発行
発行：同窓会事務局

静岡県立大学
短期大学部

〒422-8021
静岡市駿河区小島2丁目2番1号

学生部学生室内

TEL:(054)202-2611
FAX:(054)202-2612

コロナ前 コロナ後

静岡県立大学短期大学部 部長
子ども学科 教授

永倉 みゆき



四年前の一月に、新型コロナウイルスが発見されてから、私たちの日常はがらりと変わりました。昨年五月には、新型コロナウイルス感染症が五類となり、「ウイズ・コロナ」から「アフター・コロナ」へということで、私たちにも徐々にコロナ前の生活に戻ってきました。県立大学でも、学内ではマスクは基本は外してよいということになり、短大部でも後期からは対面授業が推奨されることになりました。皆様の職場ではいかがでしょうか。本学の卒業生は対人援助職に就くことが多いため、これまで様々な困難を感じて過ごされてきた方が多いこととお察しいたします。しかし、望んだわけではないとはいえ、この経験は、逆にいろいろなことを私たちに教えてくれました。

「他人が怖い存在に映る」
どこかでくしゃみが聞こえると、皆様に「はっ」として顔がこわばるといことがよく見られました。コロナの初期には、エレベーターや車で同乗することさえ、不安を感じました。人間は、文字の通り「人の間」で生きる存在ですのに、な

るべく触れたくない、関わりたくないという感情が心の底にある異常な日常となりました。

「安全のための孤食」

食べるというものは、人の命だけでなく、幸せに関わる大切なことですが、それさえ思うようにできない日々が続きました。私の関わる保育の分野では、離れて皆が前を向き、黙々と食すという「黙食」が長く続きました。

「リモートの推奨」

大学では、すぐに「対面授業」から「遠隔授業」への切り替えを迫られました。会議もWeb会議となり、各大学のそれら情報に関する機能の進化には、めざましいものがありました。そのことで遠方から参加しやすくなったメリットもありましたが、その一方、物足りなさを感じる一面もありました。

これらのことは、コロナ対応の経験を経てこそ見えてきたことです。人と共にいるということは、公共の場ですら、人に対する安心感、いわば信頼関係の上に成り立っていたということを改めて知りました。日常的で考えることもなかった「食」に関しても同様で、食べるという行為が様々な意味を持っていたことがわかりました。そして、「話す」「伝える」という行為については、単なる情報伝達ではないのだと身をもって知ることになりました。これら人間関係の根幹に関わることについて、対人援助の専門家の方々は、引き続き考え続けていただきたいと思えます。失ったからこそ見えてくるものが確かにありました。

新役員紹介

山下拓実

介護福祉専攻 令和4年度卒

現職：社会福祉法人清承会

養護老人ホーム 清水松風荘 支援員



天野莉湖

社会福祉専攻 令和4年度卒



私は大学在学中に保健室の先生からご紹介いただき、現在もママさんバレーで毎週土曜の練習に参加しています！仕事も大変ですが、プライベートも大事にしながら、日々を全力で楽しんでいます！

県短学生だけでなく、同窓会のメンバーとの関わりも日々少なくなってきたのを感じています。しっかりと両者ともに盛り上げていけるように頑張ります！

望月楓

社会福祉専攻 令和4年度卒

現職：生活支援員



令和4年度に社会福祉専攻を卒業し、今年度から同窓会役員になりました。望月楓です。現在は社会福祉法人静岡手をつなぐ育成の会のラポール・チャクラに就職し、生活支援員として知的や精神の障害のある方々の就労や日常生活の支援をしています。

これから同窓会役員として、卒業生と母校との交流の機会をつくり、繋がりが途切れることのないよう、取り組んでいきたいと思えます。

岩井瑞姫

介護福祉専攻 令和4年度卒

現職：デイサービスセンター

生活援助員



食育のことや音楽を聞くことが好きです。横や縦の繋がりを大事にし、その繋がりを活かすことが出来るような取り組みを行える同窓会にしていきます。

今年度も、2023年11月11日(土)～12日(日)にかけ、**橘花祭**が開催されました！
また、12日には同窓会主催の**ホームカミングデイ**も同時開催されました。ここではその様子を少しだけお伝えします。



歯科衛生学科
◇光照射器体験・レジン作り
たくさんの子どもが、自分で作った宝石のようなレジンを見て、キラキラと目を輝かせていました！

社会福祉学科・介護福祉専攻
◇福祉用具・レクリエーション体験
様々な介護用品に触れ、ケア体験ができる恒例のコーナー。最新の機器に触れ、介護をもっと身近に感じられました！



ホームカミングデイの様子
名簿更新の呼びかけが功を奏して、例年の3倍にあたる60人の方が参加してくれました！子ども連れの方やご家族で参加くださった方、初参加の方も多く、賑やかで楽しい空気の中で、思い思いに旧交を温めることができました。



社会福祉学科・社会福祉専攻
◇割り箸射的 ◇感謝の木
来場者が、思い思いの『感謝』を書き込んだ感謝の木。沢山の想いに、心まで温くなるようでした。



こども学科
◇キッキングスナイパー
テレビ番組の人気ゲームを取り入れて、作成や得点配分にも工夫を凝らしたそう。学生さんたちが一緒に一喜一憂してくれて、とても明るい雰囲気の中で、楽しく体験できました！



橘花祭実行委員長へのインタビュー！

狙い通り、外部の方、初めて来て下さる方がとても多い橘花祭になりました！こどもの姿も多く、とても良い学祭になったと思います！同窓会役員も見て回らせて貰いましたが、とても活気があって、学生たちの楽しさがこちらにも伝わってくる橘花祭でした！実行委員、学生の皆さん、お疲れ様でした！

こども学科2年
野田 日菜多
*今年の橘花祭のテーマは？
「1UP県短」です！コロナ禍が明けて、より良い県短、より良い橘花祭を目指しました。
*どんな部分に力を入れましたか？
*昨年は橘花祭自体は開催できましたが、色々と新型コロナウイルスの影響で規制があり、手探りな面もありました。今年は広報にも力を入れて、初めて来た人にもわかりやすい学祭にしようと心がけました。
*具体的にどんな部分を変えましたか？
例えば、昨年は模擬店のメニューが甘い物に偏ってしまったので、今年は事前にリサーチして、バランスが良くなるように工夫してみました。
*苦労した部分は？
これは個人的にですが、広報・企画・総務・模擬店・会計の各部の部長が各々頑張りすぎたので、もっと頼って貰えるようになりたかったです。
*最後に、今年の橘花祭の総括をお願いします。
狙い通り、外部の方、初めて来て下さる方がとても多い橘花祭になりました！こどもの姿も多く、とても良い学祭になったと思います！同窓会役員も見て回らせて貰いましたが、とても活気があって、学生たちの楽しさがこちらにも伝わってくる橘花祭でした！実行委員、学生の皆さん、お疲れ様でした！



編集後記

同窓会だより第12号をお届けします。この同窓会だよりも、早いもので、12回目を迎えました。私自身も県短を卒業し、単以上が経つことに気が付き、驚いてしまいました。そして、年々間に2回転職しました。今の仕事では、少しだけですが県短の先生方や、現役の学生さんたちと関わる機会もあり、「県短」というつながりに嬉しさを覚えています。実は、この同窓会だよりも来年度よりオンライン化することになり、これが最後の紙面でのお届けとなります。今後はもっと皆さんの身近な存在になれるように精進してまいります。(萩原志穂)



同窓会事務局からお願い
同窓会では、会員相互の親睦を図り、母校発展のために寄与することを目的とし、毎年、総会やホームカミングデイの開催、同窓会だよりの発行等の活動を行っています。各種ご案内につきましては、会員の皆様在校時に登録していた情報に基づいて行っていますが、卒業後の住所やメールアドレスの変更等により、多くの会員に十分な連絡ができていない状況が続いています。そこで、同窓会名簿の更新をお願いし、会員の皆様には、現在の住所、連絡先等について、静岡県立大学短期大学部ホームページ内の「同窓会送信フォーム」より名簿の更新をお願いいたします。なお、卒業後、在校時の情報から変更のない方も、改めてご登録をお願いいたします。

寄付口座のご案内

同窓会では寄付口座を開設しています。ご支援のほど、よろしくお願い致します。

銀行名 / スルガ銀行
支店名 / 静岡東支店
店番号 / 725
口座番号 / 3252720
預金種目 / 普通預金
口座名 / 橘花会(タチバナカイ)

連絡先
Mail:tandoso@u-shizuoka-ken.ac.jp

*同窓会だよりでは会員の皆様からの情報を広く募集しております。掲載ご希望の方は、同窓会事務局までご連絡ください。

